後期実施計画（令和３年度～令和７年度）　施策評価シート

１．基本情報

基本目標	5	持続可能なまちづくり	担当部	総務企画部
基本施策	1	総合的なまちづくりの推進		
単位施策名称	4	まちの魅力発信		
施策の方向性	●まちの魅力を町内外へ発信することで、「住んでよかった」「住んでみたい」「これからも住み続けたい」と実感できるまちとしてのイメージの向上・定着を図ります。 ●時代に即した情報発信を取り入れるなど、さまざまな広報媒体を活用し、利用しやすく分かりやすい情報発信を進めるとともに、意見聴取などを通じて、広聴活動の充実を図ります。			

２．施策目標（施策指標）

No.	目標指標	単位	区分	計画策定時の状況	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
1	府中町の認知度（県内居住者Webアンケート）	%	目標値		63.6	64.4	65.3	66.2	67.0
			実績値	60.6	60.4	63.6	61.7	62.4	63.6
			達成状況		未達成	未達成	未達成	未達成	未達成
2			目標値						
			実績値						
			達成状況						
3			目標値						
			実績値						
			達成状況						

３．評価と対応方針（各部評価）

・分析

（施策目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）

R3	平成30年度の実績値61.8%以降、60.6%、63.2%、そして今回60.4%と軒並60%は超過しているものの、3ポイント程度の間で往来しています。高止まり感もありますが、一方で外部の方の声をダイレクトに反映する指標でもありますので、引き続き注視する必要があります。
R4	平成30年度の実績値61.8%以降、60.6%、63.2%、60.4%、そして今回63.6%と平均して約61.9%となっています。高止まり感もありますが、一方で外部の方の声をダイレクトに反映する指標でもありますので、引き続き注視する必要があります。
R5	平成30年度以降、60%を超える値となっており、今回は61.7%となっています。数値は高止まり感もありますが、広島県内における府中町の認知率が反映された値であるため、引き続き注視していく必要があります。
R6	平成30年度以降、60%を超える値で推移しており、令和6年度は62.4%となっています。大きな増減は見られず、一定の水準を維持していますが、目標値には達していない状況です。町外の方の認知や評価が反映される指標であることから、広島県内における府中町の認知状況を把握する上で重要な数値といえます。今後も本指標の推移を注視していく必要があります。
R7	平成30年度以降、60%を超える値で推移しており、令和7年度は過去最高値と同率の63.6%となっています。全体として一定の高い水準を維持しているものの、劇的な増加には至っておらず、目標値の達成に向けた課題も残されています。町内外の認知や評価を的確に把握するための指標として、今後もその推移を注視していく必要があります。

・評価及び対応方針

R3	引き続き「魅力発信事業」を推進するとともに、後期実施計画を断行することで、相乗的にまちの認知度向上につなげたいと考えます。
R4	各種大型イベントに参加し、まちの魅力を発信するなど、引き続き「魅力発信事業」を推進し、まちの認知度向上につなげていきたいと考えます。
R5	大型イベント等に参加して、直接プロモーションを行ったり、SNSを通じて町の魅力を発信するなど、引き続き「魅力発信事業」を推進し、まちの認知度向上につなげていきたいと考えます。
R6	大型イベント等への参加による直接プロモーションや、SNS等を活用した情報発信を行いながら引き続き「魅力発信事業」を推進し、まちの認知度向上につなげていきたいと考えます。
R7	各種大型イベント等での直接プロモーションや、SNS等を通じた魅力発信など、これまでの取り組みを深化させながら、引き続き「魅力発信事業」を推進し、さらなるまちの認知度向上とイメージの定着につなげていきたいと考えます。

【参考】施策の推進に要したコスト（事務事業）　　（単位:千円）

No.	事業名称	R3	R4	R5	R6	R7	計
1	魅力発信事業	2,341	2,903	2,933	2,531	20,611	31,319
2							
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
合計		2,341	2,903	2,933	2,531	20,611	31,319

後期実施計画（令和３年度～令和７年度）　事務事業評価シート

１．基本情報

総合戦略：○

事務事業の名称	魅力発信事業	事業番号	514101
担当部署名	総務企画部　政策企画課		

政策体系		
	基本目標	5 持続可能なまちづくり
	基本施策	1 総合的なまちづくりの推進
	単位施策	4 まちの魅力発信

２．活動実績

年度	活動実績
R3	○ PRアニメを活用した映画館広告（バルト11の全スクリーンでR3.9.10～R4.3.10）・街頭ビジョン宣伝（広島駅南口地下広場大型映像装置で1日12回を通年）を実施しました。 ○ 広島県主催のオンライン移住フェアに参加し、移住を検討されている方へ直接PRを行いました。 ○ まち記者と協働し、SNS投稿に「#府中町まち記者」のタグをつけて30件（Instagram28件、Facebook2件）の情報発信を行いました。 ○ 令和3年10月の町公式ホームページのリニューアルに伴い、シティプロモーションサイトのデザインを刷新しました。
R4	○ PRアニメを活用した事業を実施しました。 ・映画館広告（バルト11の全スクリーンでR4.8.5～R5.2.2） ・街頭ビジョン宣伝（広島駅南口地下広場大型映像装置で１日12回を通年） ・来て見て乗ってみん祭2022（R4.8.21実施、マツダスタジアム、1日4回、入場者数5,600人） ○ 広島県主催の移住フェア（東京）やイベント（安芸地区交流まつりなど）などを通じて、来場者にパンフレット等により魅力紹介（直接プロモーション）を行いました。 ○ まち記者と連携し、SNS投稿として84件（Instagram45件、Facebook39件）の魅力発信を行いました。
R5	○ PRアニメを活用した映画館広告（バルト11の全スクリーンでR5.8.11～R6.2.8）・街頭ビジョン宣伝（広島駅南口地下広場大型映像装置で1日12回を通年）・来て見て乗ってみん祭2023（R5.9.10実施）での大型スクリーン宣伝を実施しました。 ○ 広島県主催の移住フェア（東京）や各種イベント（安芸地区交流祭りなど）を通じて、直接プロモーションを実施しました。 ○ PR大使やまち記者など、様々な関係者と連携、協力し、SNS等を積極的に活用した町外への魅力発信を進めました。また、令和5年度には新たなPR大使（石田姉妹）を委嘱し、同世代である20代～30代への魅力発信に努めました。
R6	○ PRアニメを活用した映画館広告（バルト11の全スクリーンでR6.8.23～R7.2.20）・街頭ビジョン宣伝（広島駅南口地下広場大型映像装置で1日12回を通年）・来て見て乗ってみん祭2024（R6.8.18実施）での大型スクリーンを活用した宣伝を実施しました。令和6年度から新たに、新広島駅ビル「ミナモア」３階のmiobyDoTSでのデジタルサイネージ宣伝（1日1回）を実施しました。 ○ 広島県主催の移住フェア（東京）や各種イベント（来てみて乗ってみん祭2024）を通じて、直接プロモーションを実施しました。 ○ PR大使やまち記者など、様々な関係者と連携・協力し、SNS等を積極的に活用した町外への魅力発信を進めました。府中町まち記者展を府中町役場2階のフリースペースにて初めて開催しました（R7.3.17～3.31）。R5年度に新たにPR大使に就任したマリンバツインズの石田真歩さんによるenso　in　広島（R6.6.9）及びお二人によるPR大使就任記念特別公演×府中セミナー（R7.2.23）を開催しました。また、マリンバツインズによる府中町PR動画を制作し、各種イベントで府中町のPRを実施しました。 ○ 県の事業「The Meet」に参画し、VRコンテンツでの地域資源PR による魅力発信として、「360°パノラマ バーチャル府中町」を制作し、府中町HPで公開しました。 ○ 新広島駅ビル「ミナモア」３階のmiobyDoTSにおいて、広島23市町地域PR棚活用施策と連携し、府中町PR棚を設置しました。
R7	○ PRアニメ第2弾を制作しました。（前回制作R2年度） ○ PRアニメを活用した事業を実施しました。 ・映画館広告（バルト11の全スクリーンでR7.7.4～10.31） ・街頭ビジョン宣伝（広島駅南口地下広場大型映像装置で1日12回を通年） ・来て見て乗ってみん祭2025（R7.8.30実施）での大型スクリーンを活用した宣伝を実施しました。 ・新広島駅ビル「ミナモア」３階のmiobyDoTSでのデジタルサイネージ宣伝（1日1回）を実施しました。 ○ 広島県主催の移住フェア（東京）や各種イベント（来てみて乗ってみん祭2025）を通じて、直接プロモーションを実施しました。 ○ PR大使やまち記者など、様々な関係者と連携・協力し、SNS等を積極的に活用した町外への魅力発信を進めました。府中町まち記者による記事を広報ふちゅうへ毎月掲載しました。 ○ 新広島駅ビル「ミナモア」３階のmiobyDoTSにおいて、広島23市町地域PR棚活用施策と連携し、府中町PR棚を設置しました。

３．事業目標（事業指標）

No.	指標名称	単位	区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
①	まち記者による情報発信回数	回	目標値	2	4	6	8	10
			実績値	1	4	6	8	16
			達成状況	未達成	達成	達成	達成	達成
②			目標値					
			実績値					
			達成状況					
③			目標値					
			実績値					
			達成状況					
④			目標値					
			実績値					
			達成状況					
指標の設定方法	魅力を効果的に発信することが目的のため、まち記者による情報発信回数を指標としました。							

４．コスト情報（決算）

（単位：千円）

区分	事業費合計	財源内訳				
		国庫支出金	県支出金	地方債	その他	一般財源
R3	2,341	679	0	0	78	1,584
R4	2,903	679	0	0	178	2,046
R5	2,933	577	0	0	76	2,280
R6	2,531	0	0	0	129	2,402
R7	20,611	0	2,250	0	711	17,650
合計	31,319	1,935	2,250	0	1,172	25,962

5．評価と対応方針（各課評価）

・分析

	（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）
R3	新型コロナウイルス感染症の影響によりイベント開催が少なく、まち記者による情報発信が制限されましたが、府中公民館・歴史民俗資料館のリニューアルオープンに伴い、2人のまち記者に取材依頼を行い、情報発信（広報ふちゅう）に掲載することができました。
R4	令和4年度は、令和3年度に比べ感染防止対策を講じてのイベントの実施が増えました。そのため、府中つばき祭り、府中南公民館60周年記念式典・コンサート、かっぽ府中町民祭り、ヒューマンフェスタ・スマイル21合同イベントの取材・記事執筆を調整し、情報発信（広報ふちゅうに掲載）を行いました。
R5	令和5年度は、新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に引き下げられたため、制限なしでのイベントの実施が増えました。そのため、イベントの取材可否等をまち記者に照会し、夏越祭、安芸地区交流まつり、かっぽ町民まつり、消防出初式などのイベントの取材・記事執筆を調整し、年6回の情報発信（広報ふちゅうへの掲載）をすることができました。
R6	令和6年度は、新型コロナウイルス感染症による制限が解消された状況が継続し、制限なしでのイベント実施が定着しました。そのため、各種イベントの取材可否等をまち記者に照会し、来て見て乗ってみん祭2024をはじめとしたイベントの取材、記事執筆を調整し、年8回の情報発信（広報ふちゅうへの掲載）を行いました。また、府中町まち記者展を初めて開催し、これまでのまち記者の活動成果を広く発信するとともに、町の魅力を町内外に伝える機会とすることができました。
R7	各種イベントの取材可否等をまち記者に照会し、府中つばき祭りをはじめとしたイベントの取材、記事執筆を調整し、目標値である年10回を大幅に超える年16回の情報発信（広報ふちゅうへの掲載）を行いました。まち記者による住民目線のタイムリーな記事発信が充実するとともに、町の魅力を町内外に伝える機会とすることができました。

・評価及び対応方針

R3	コロナ禍で行事等が少ないことも要因して目標値を達成することができませんでしたが、今後、効果的な発信をさらに進めていくため、取材依頼した記事以外についても広報へ掲載することを検討し、まち記者活動の活性化、延いては魅力発信の活性化を図ります。
R4	コロナ禍ではありましたが、イベント開催が増えてきたこともあり、目標値を達成することができました。今後、効果的な情報発信を進めていくため、引き続き町のイベント情報の把握、取材依頼の調整等を行うとともに、まち記者との意見交換の場を設けるなど、魅力発信の活性化を図ります。
R5	5類移行となりイベント開催が増え、まち記者が参加できるイベントの選択肢が広がったため目標値を達成することができました。今後、効果的な情報発信を進めていくため、引き続きの町のイベント情報の把握、取材依頼の調整等を行うとともに、直接まち記者との意見交換を実施し意見を施策に反映する等、活動が活性化するよう取り組みます。
R6	イベントの実施が定着し、まち記者が参加できるイベントの選択肢が広がったことから目標値を達成することができました。今後、効果的な情報発信を進めていくため、引き続き、町のイベント情報の把握、取材依頼の調整等を行うとともに、まち記者と意見交換を実施し、意見施策に反映するなど、活動が活性化するよう取り組みます。
R7	まち記者への積極的なアプローチと調整を行った結果、目標値を大幅に達成することができました。今後も効果的な情報発信を進めていくため、引き続き、町のイベント情報の的確な把握や取材調整等を行うとともに、まち記者と意見交換を実施し、意見施策に反映するなど、活動のさらなる活性化と持続可能な運営体制の構築に取り組みます。

6．評価と対応方針（各部評価）

・分析

	（事業目標達成・未達成の要因、前年度評価を踏まえた見直し状況、新たに発生した課題・環境変化等）
R3	まだ「まち記者」活動の初期段階であり、目標は達成できませんでしたが、徐々に軌道に乗せるよう努めます。
R4	前年度目標値未達成の反省を踏まえ、まち記者の活動を徐々に軌道に乗せることにより、目標値を達成しました。
R5	目標値は達成することができました。今後もまち記者の活動が活性化するように取り組みます。
R6	目標値は達成することができました。今後もまち記者の活動が継続的に行われ、より活性化するよう取り組みます。
R7	目標値を大幅に達成することができました。今後もまち記者の活動が継続的に行われ、より活性化するよう取り組みます。

・評価及び対応方針

R3	町の魅力を町民自らが発信する「まち記者」は、「魅力発信事業」の柱となるものです。「まち記者」の活動を活性化させ、取材の機会を増加させることで更なる魅力を生み出し、その新たな魅力を取材する場が増加していくという好循環を創造することが要所であると考えます。
R4	町民自らが「まち記者」として、「暮らし続けたい、ともに住みよさを伝えたい」とメッセージを発信することが、更なる府中町の魅力と認知度の向上につながることから、引き続き「まち記者」事業を推進します。
R5	町の魅力を町民自らが発信する「まち記者」は、「魅力発信事業」の柱となるものです。共同発信者である「まち記者」の活動を活性化させるため、、まち記者の登録者数の増加、まち記者との連携、発信者の育成（養成講座等）等に取り組んでいくことが重要であると考えます。
R6	町の魅力を町民自らが発信する「まち記者」は、「魅力発信事業」の重要な柱となる取組です。共同発信者である「まち記者」の活動をさらに活性化させるため、、登録者数の増加を図るとともに、まち記者との連携強化や発信者の育成（養成講座等）等に取り組んでいくことが重要であると考えます。
R7	町の魅力を町民自らが発信する「まち記者」は、「魅力発信事業」の重要な柱となる取組です。令和7年度は住民目線による発信の質・量がともに大きく向上しました。共同発信者である「まち記者」の活動をさらに活性化させるため、登録者数の拡大やまち記者との連携強化及び発信者の育成（養成講座等）等を推進していくことが重要であると考えます。